

令和5年度 第2回国分寺市高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画評価等検討委員会 会議録

令和5年8月22日（火）
午後6時30分～午後8時24分
いずみプラザ 講座室

委員会次第

- 1 開会
- 2 議題
 - ① 国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価について（資料1）
- 3 報告
 - ① 介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票（令和4年度）について（資料2）
 - ② 第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について（資料3）
- 4 閉会

出席者等（敬称略）

委員長…… 本多 勇
副委員長…… 富井 友子
委員…… 升田 範夫, 森 弘達, 富樫 美紀, 八木 亜希子
事務局…… 福祉部長（玉井），高齢福祉課長（澤田），地域包括ケア担当課長（戸部），計画・事業推進係長（佐瀬），計画担当係長（土井），介護保険係長（寒河江），介護保険担当係長（向野），相談支援係長（川口），地域包括ケア担当係長（赤嶺），計画・事業推進係（杉本），計画・事業推進係（大嶽）

1 開会

省略

2 議題

①国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価について

本多 委員長… 国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価についてです。前回、7月25日の評価等検討委員会では、基本目標2まで確認が終わっていますので、本日は基本目標3から基本目標5まで、施策の方向としては7項目について進めていきたいと思います。説明、お願いいたします。

佐瀬 係長… 国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価について、御説明いたします。委員長からお話のありましたとおり、前回の評価等検討委員会で基本目標2の最後まで終えていただきましたので、今回は基本目標3から始めさせていただきます。

基本目標3「少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める」、施策の方向1「地域福祉を進めるために」です。資料1の35ページを御覧ください。

重点事業としては二つあります。①生活支援・介護予防サービス体制整備の推進、市、生活支援コーディネーター、地域の関係団体会議を開催しまして、サービス提供体制整備についての協議を行うものになります。指標としては二つ、第1層協議体の開催回数と第2層協議体の設置数になります。第2層協議体の目標値について、実績が下回っていますので、進捗状況としてはCとなっています。

②地域ケア会議の効果的な運営、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような支援体制の構築等について所掌している会議になります。指標としては5つ、地域ケア会議の中に個別に部会や地域ごとの小地域ケア会議がありまして、それらの開催数がそれぞれ指標となっています。地域ケア個別支援会議の開催数が目標値を大きく下回ってしまっていることから、進捗状況としてはCとしています。

36ページに取組事業を一つ掲載しています。地域福祉に関して意見交換や情報共有の場として設置している60人ほどの委員からなる地域福祉推進協議会の取組状況となります。

以上の事業の状況を踏まえて、34ページの施策評価票に戻っていただいて、令和4年度の進捗状況評価としては、重点事業はどちらもC評価となってしまうのですが、体制整備の推進には取り組んでいる状況で、その他の事業についても適切に実施できていることから、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向1「地域福祉を進めるために」については、説明は以上となります。

本多 委員長… それでは、委員の皆様から指摘やコメントがあれば、お願いいたします。

①は、第2層協議体の設置数が、目標6に対し実績が3で、前年度と変わりなしというところですかね。②の地域ケア会議に関しては、地域ケア会議そのものは2回開催している、小地域ケア会議も12回開催しているが、地域ケア個別支援会議が目標120回に対し実績81回ということになっているので、それぞれC評価ということなのです。

八木 委員… 令和4年度の進捗状況評価で「おおむね目標どおり進行している。」との評価に私も賛成です。

なぜなら、例えば②では地域ケア会議や小地域ケア会議等いろいろな会議が指標にあります。目標を達成できなかった地域ケア個別支援会議は、このコロナ禍において、問題のある事例に対して関係する方たちが集まる小規模の会議になります。それに引き換え、地域ケア会議や小地域ケア会議等に関しては、例えばオンラインにて関係各所の人を開催を案内して実施するという会議になりますので、コロナ禍においても、参加の形式を決めてしまえば実施できる会議になるので、地域ケア個別支援会議に関しては回数が少なくなってしまうというのは仕方がないかなと思いますので、令和4年度は「おおむね目標どおり進行している。」という評価でいいのではないかなと私は感じます。

升田 委員… 今の②ですが、地域ケア会議の効果的な運営ということであれば、主題は地域ケア会議で、目標値が2回で実際に2回実施しているのだから、地域ケア個別支援会議は未達成だけれども、ほかの項目は達成しているので、Cでなくてもいいのではないかなと思いました。

地域ケア個別支援会議は回数が多いほうがいいのか、少ないほうがいいのか。開催回数を目標として設定すること自体がちょっと気になりました。

本多 委員長… 升田委員の御指摘は、地域ケア会議が一番の主題なのというところと、地域ケア個別支援会議、これは八木委員が御指摘のように、個別で集まってケースごとにいろいろディスカッション、確認をするのがコロナ禍でなかなか難しかった状況があるということも含めてという御指摘がありました。確かに回数をこなせばいいかというところではなくて、情報を共有したり、支援の方向性を探っていくべきケースがそこにあって、それを各事業所や専門職が共有することが一番大事なことだと思うので、120回開催できたから良いということより、本当は質がどうだったかということだとは思いますが。お話いただいたように、しっかりそこを支える会議ができていたことは伝わってきましたので、そのとおりでよろしいのかな

ということと、升田委員がおっしゃるように、回数が問題ではないのではないですかということも、そういうことかなと思います。

升田 委員… 指標として、回数は見直してもいいのかなということ。もう一つは、事業内容のところに「地域のネットワーク構築」とあります。29ページの基本目標2施策の方向8の「高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築」では、参加機関数という指標になっているので、参加者とか機関とか、そういう項目を設定したほうがいいのではないかなという意見です。

本多 委員長… 事務局から何かコメントや補足があればお願いします。

赤嶺 係長… 今御議論いただいたように、個別支援会議につきましては、回数というよりは、そこできちんと関係者が顔を合わせて、課題の整理や方針の決定をすることが大事になってきておりまして、その辺りにつきましては、少ないながらも各地域包括支援センターが取り組んでいるところです。

一方で、これを指標としていくということに関しましては、次期計画に向けて少し考えていくべき事項かもしれませんが、個別支援会議につきましては地域包括支援センターが主体になっていきますので、先ほどの虐待防止のネットワークと違って、参加機関をどこまで出せるかというところはあります。いずれにしても、内容や目的に沿うような指標や見せ方はまた考えさせていただきたいと思います。御意見ありがとうございました。

森 委員… 内容ではないのですが、基本目標3のタイトルは国が設定しているものなのですか。

佐瀬 係長… 基本目標1から5について、全て市で設定しています。以前、計画の体系について御説明させていただいたかと思うのですが、基本理念がまずあって、それに対して基本目標が1から5まであり、そこに施策の方向がぶら下がっている形になるのですが、それらは国の指針を基に全て市で考えて設定しているものになります。

森 委員… 基本目標1から5までである中で、基本目標3だけ突然「少子高齢社会」というワードが出てきていて。その部分は施策と関係があるのかどうかというところがちょっと分からないので、少し補足いただけると。

本多 委員長… 確かに。なぜ「少子」が入っているか。

佐瀬 係長… 地域福祉を進めるためにというのが主題になるかと思いますが、高齢者だけではなく、いろいろな人が関わって、地域全体で地域福祉の考え方や意識を高めていくのだという目標になっているので、おそらく「少子」をそこに入れているのではないかと考えます。

森 委員… 基本目標に書いてありますが、「少子」の部分については、そこにひもづいた施策はここでは入ってないと思ったところです。

本多 委員長… 施策の方向1「地域福祉を進めるために」、これは、おおむね相違なし

ということでもよろしいでしょうか。ではそのようにいたします。

次は、施策の方向2「市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて」、説明をお願いします。

佐瀬 係長… 施策の方向2「市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて」です。38ページを御覧ください。

こちらの施策の方向については重点事業の設定はありません。取組事業を4つ記載しています。老人クラブへの支援や介護支援ボランティアの育成といった高齢者の活動に関する事業の取組状況となります。

これらの事業の状況を踏まえて、37ページの施策評価票に戻っていただいて、令和4年度の進捗状況評価としては、活動に関する事業のため新型コロナウイルス感染症の影響を受けてはいるのですが、感染対策を行いながら事業を実施できている状況にありますので、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向2「市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて」について、説明は以上となります。

本多 委員長… 委員の皆様から御指摘、コメントがあれば、お願いいたします。市民活動とボランティア活動関連です。特段、相違なしということでもよろしいでしょうか。

では、施策の方向2については相違なしということで、よろしく申し上げます。

施策の方向1に戻りますが、次期計画に向けた方向性についても検討する必要があります。コメントがあればなのですが、施策の方向1「地域福祉を進めるために」は、指標を会議の回数でいいのかというコメントは一つあるのかなというところですが、ほかに、施策の方向1と2を併せて、御指摘等がありますか。

森委員が御指摘された、少子化をどこまで視野に入れているのかというところはコメントとしてありかなと思います。

よろしいですか。では、基本目標3に関して、次期計画に向けた方向性へのコメントはこれくらいということで。ありがとうございます。

では、進めてまいります。次は基本目標4「高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める」です。施策の方向は3つあります。施策の方向1「自己の充実にに向けて」、御説明をお願いします。

佐瀬 係長… 基本目標4「高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める」の施策の方向1「自己の充実にに向けて」です。40ページを御覧ください。

こちらの施策の方向については重点事業を設定していません。取組事業は、ページをまたがって5つ記載しています。生涯学習や体育施設の使用

といった高齢者の個人の活動に関する事業の取組状況となります。

これらの事業の状況を踏まえて、39ページの施策評価票に戻っていた
だいて、令和4年度の進捗状況評価としては、グループ活動の活性化等、
事業を実施できていることから、「おおむね目標どおり進行している。」
としています。

施策の方向1「自己の充実に向けて」について、御説明は以上となりま
す。

本多 委員長… 取組事業が5つ、そのうち2つは再掲です。何かコメント、御指摘があ
れば、よろしくお願いします。

公民館活動とか地域のお祭りも少しずつ今年の夏から復活している雰囲気
がすごく伝わってきていて、基本的にはよいなと思っていますが。これ
は令和4年度の評価の確認なので、昨年度はまだコロナ禍だったというこ
ろはありますけど。よろしいですか。今年度、アフターコロナのときに
どう考えるかということかなと思います。

併せて、次期計画に向けてコメントや方向性について御指摘があればお
願いします。

私は、ささいなことですが、「自己の充実に向けて」という言葉が何か
すっと入ってこなかったなという気がしたところです。「自己の充実」は
あまり聞かないかなと思いました。「充実した生活」とか。私の指摘はそ
れぐらいです。

委員の皆様から何かありますか。よろしいですか。

では、施策の方向1「自己の充実に向けて」は、「おおむね目標どおり
進行している」でよろしいかと思います。

富井 副委員長… 1点だけ。自己実現のところにつながるかどうかと思うのですが、今回、
項目の中に生涯学習、健康づくりというところが入っていますが、それ以
外に、やはり近年は仕事に関わる場所も入れていく必要があるかなと思
いますので、そのところを次期計画では触れられるといいかなと思いま
した。

本多 委員長… では、そこも入れていただきつつ、次に参りますが、次の施策の方向2
では、シルバー人材センターの支援事業が入っていて、若干つながりがあ
るかなとは思いますが、施策の方向2「高齢者の知識や技術・経験を活か
した社会を推し進めるために」の説明をお願いします。

佐瀬 係長… 施策の方向2「高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進める
ために」です。43ページを御覧ください。

こちらの施策の方向についても重点事業の設定はありません。取組事業
を3つ記載しています。シルバー人材センターや人材バンクといった自分
の経験を活かした社会貢献につながる事業の取組状況となります。

これらの事業の状況を踏まえて、1ページ前、42ページの施策評価票に戻っていただいて、令和4年度の進捗状況評価としては、いずれの事業も適切に実施できていることから、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向2「高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために」について、説明は以上となります。

本多 委員長… 取組事業が3つあります。委員の皆様から御指摘、コメントがあればお願いいたします。併せて次期計画に向けた方向性のコメントも含めて、もしあればお願いします。

富井 副委員長… ②の人材バンクの事業内容に「個人又は団体に気軽に学習に取り組めるように」とあります。これは、例えば子どもたちの学習支援とか、そういったところも含まれているような人材バンクでしょうか。それとも、サークル活動のときに講師として呼び出してといったような、同世代での活動を支援していくような人材バンクでしょうか。

本多 委員長… 担当課は社会教育課ですが、御説明があればお願いします。誰が人材バンクに登録されているかというのはどこで公表されているのですか。

富井 副委員長… 小学校の授業に赴いたりとか、そういったことも含まれているのですか。

佐瀬 係長… この人材バンクの事業について、今お話しされていたように社会教育課の事業になりますので、正確なところまでお話できませんが、高齢者だけでなく、いろいろな世代の方が登録されている事業になります。

こちらについては評価に直接関わるものではないかと思しますので、確認し、後日メールなどでお知らせします。

本多 委員長… 高齢者だけではなくいろいろな世代がいるのですか。

森 委員… そうなると登録者数が少ない感じもしますね。

本多 委員長… そうですね。登録者のうちの高齢者が31人なのか。実際、この人材バンクに登録するとは一体何なのかということも分からないので、どう公表されているのか。計画に入れる内容なのかは分からないですけど、ちょっと分かりにくいですね。

富井 副委員長… そのあたりは調べれば分かるかなと思うのですが、次期計画では、例えばこの人材バンクに登録された方が子どもたちの学習支援とか、子どもたちの社会教育のところで活躍しやすいような体制づくりに触れていただければと思います。

本多 委員長… ほかは御意見ありますか。

私から、③は「就労・就業相談・情報提供」と、非常に大まかな感じで書いてありますが、ここでいう施策の方向全体が、ちょっと言い方が難しいのですが、一般的な高齢者の就労も含めているとは思いますが、国分寺市の地域福祉に関連する計画なので、市内で就労するというのが念

頭にあるのかどうか少し分かりにくいなと思ったのが1点と、国分寺市の地域の高齢者に関連する計画の中で考えたときには、やはり市内あるいは近隣で働くということが念頭にあってもいいのではないかと感じたところです。これだと、ただの再就職ないしは転職で、そこはあまり考えに入っていないのかなと、その辺りが引っかかったところです。もともとの目標が「高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める」というところであれば、市内のシニアの方が国分寺市でいろいろな活動をするとうちが活性化するのかなと思いましたが、そうではないのかなと思ったところです。

佐瀬 係長… 先ほどの②人材バンクについて御説明をさせていただきます。基本的には、先ほどお話したとおりで、高齢者のみというわけではありませんが、例えば、外国語が得意な方が、市内で活動しているグループなどに、講師として呼ばれる、こういう特技や資格を持った人がいますよという登録制度になっています。そこをマッチングして紹介していくというようなシステムになっています。

ただ、取組状況に記載されている31人が高齢者のみなのか、それとも全体で31人なのかというところまでは正確に把握しておりませんので、確認して後日お知らせいたします。

本多 委員長… ボランティアセンターに似た感じですかね。

では、施策の方向2についてはそのような意見をまとめていただきましょう。

続いて施策の方向3「様々な世代との交流に向けて」です。御説明お願いします。

佐瀬 係長… 施策の方向3「様々な世代との交流に向けて」になります。45ページを御覧ください。

こちらの施策の方向についても、重点事業の設定はありません。取組事業を二つ記載しています。公民館や児童館での異世代交流に関する事業の取組状況となります。

これらの事業の状況を踏まえて、1ページ前、44ページの施策評価票に戻っていただいて、令和4年度の進捗状況評価としては、いずれの事業も、感染症対策を行いながらも実施できているという状況であることから、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向3「様々な世代との交流に向けて」について、説明は以上となります。

本多 委員長… 委員の皆様から御指摘、コメントがあればお願いします。併せて、次期計画に向けたコメントもお願いします。

八木 委員… ①と②の事業名は違いますが、内容が何か似ているような。場所が違う

だけで、同じような印象を受けました。

本多 委員長… 御指摘のとおりと思いますが、何かコメントがあればお願いします。

佐瀬 係長… こちらは市の事業として事業ごとに評価をしているものになりますので、公民館課にて公民館の事業として実施している事業と、子ども子育て支援課にて児童館の事業として実施している事業ということで、確かに内容としては同じものですが、事業としては別であるため、別立てで記載しています。

升田 委員… 基本目標4ですが、基本目標と言っておいて重点事業がないのはおかしいのではないですか。重点事業が一切ないということとは、施策を具体的に詰めていないということで、この項目に関しては非常に薄い感じがします。重点事業がないのだったら基本目標に載せなくていいと思います。基本目標4に関しては、急に質が落ちる感じが。

本多 委員長… 御指摘、そのとおりかと思えます。

ほかはいかがですか。特に施策の方向3は、公民館か児童館かというところなのかなと思いますけど、子どもたちの側で考えると、やっぱり学校の中に高齢者が関わるというか。東元町では通学路で子どもたちの安全を見守ってくださる地域のシニアの皆様方は本当にありがたい存在だなと思っていて、その方々が先日も、児童館・公民館とさわやかプラザの合同のお祭りに屋台を出して、子どもたちと交流しているのを見て、ありがたいなと思いました。本当は館ごとではなくて、地域全体で、升田委員のおっしゃるように、柱になるような取組、重点事業を入れていただけると、寄せ集めではないことになるのかなと思います。

話を戻すと、公民館と児童館は書いてありますが、学校に関連するところは載っていない。学校に関連した事業はやはり子どもが中心になってしまうから、地域との交流は外側になるのかなとは思いますが。

何かコメントや、補足があれば、教えていただけるとありがたいです。

佐瀬 係長… 学校に関連しているイベントは確かにあって、実際には別の基本目標でもありまして、例えば、基本目標5で中学生の職場体験機会の提供という事業もありますので、それも再掲という形にはなりますが、絡めてもいいのかもしれないですし、現在実施している事業で、学校と連携したイベントもありますので、次期計画策定に向けて検討する必要があるのかなというところですよ。

八木 委員… 最近ではないですが、新型コロナウイルス感染症の流行前の小地域ケア会議などで、よく「あったらいいな事業」ということで、地域の空き家などで高齢の方が子どもたちを見るような、そういうカフェがあったらいいなというアイデアはよく出ていて。ただ、そういう会議で出たアイデアが実現するのは難しいなということは考えておりまして。ですので、そうい

う会議体で出たいろいろなアイデアが実現できるとよりいい市になるのではないかなということを感じております。

本多 委員長… そうですね。それは、取組事業や重点事業に落とし込んでいこうとする
とどういう形になるのですかね。

富井 副委員長… 小地域ケア会議において出されたアイデアが実現するような支援をして
いくということは、基本目標4の「地域づくりを進める」というところに
まさしく入ってくると思います。国分寺市は重層的支援体制整備事業を実
施しているのですよね。

本多 委員長… 実施しています。

富井 副委員長… そこでの地域支援も少しここで拾えるところは入れていいのではないか
なと思います。社会資源が創出された数とか、そういったところで評価で
きくと思うので、次期計画では、重層的支援体制整備事業の地域支援でど
れだけ社会資源が構築されていったかというところで見られないかなと思
いました。

本多 委員長… 重層的支援体制の整備に関しては、現在の計画には載っていませんが、
昨年度からスタートし始めて、今年度本格実施みたいなフェーズに入っ
ているはずなので、もしそれを載せるとすると、基本目標3施策の方向1の
「地域福祉を進めるために」というところになってくるのかなと思います。
数では数えられないのではないかという、地域ケア会議とか、そこに関係
してくるのかなと思って聞いておりました。またその重層的支援体制整備
事業の中で、こんな社会資源がないからこういうふうに構築していったら、
というようなディスカッションもきっと少しずつ出てくるのではないかと
想像をしています。

何かコメントがあればお願いします。あったらいいな、新しいアイデア
の実現と、今、富井副委員長がおっしゃってくださった重層的支援体制整
備事業に関連する内容ですかね。

升田 委員… 項目にこういうことを入れてほしいとか、追加をしてほしいとか、今回
できないと思うのです。だから次期計画以降、計画案を作るときに参加さ
せていただきたいと私が最初から言っているのはそこなのです。すでにで
きたものをこうやって検討したって直せないのですから。だから、作るの
も介護保険運営協議会で一緒にやったほうがいいと私は思っている。そう
しないことには、意見を言ってそこで反映してもらうことができませんか
ら。

本多 委員長… 強く伝えていただいてというところかなと。では、よろしいですか。

森 委員… あったほうがいい事項として、計画全般的には、社会で言われているよ
うなAIの活用とか、あるいは、今の50代が60代になって、60代が70
代になって、ITを使う世代が将来的に高齢者になっていくことを考える

と、新しい施策の検討とか活用は、市全体的ではそういうことに取り組んでいるのですが、高齢者福祉の分野では、DXとかAIの活用はあまり入ってないので、少し検討するといいいのかなと思います。

本多 委員長… 情報発信とか、情報を受けるというところがスタート地点になるような気もするのですが。

森 委員… 企業は利潤追求のためにそういったものを使おうということで、教育関係や病院でも少しずつ入ってきていますが、福祉はそういうのが最後になってしまうのかなと思いますが、結構ボリュームゾーンでありますので、そういった項目が何かあってもいいのかなという気はしました。

実際は、高齢者を支える人材確保がかなり厳しいわけです。そういったところで、今、ロボットやAIがどれぐらいサポートできるのかということところは結構大事なのかなと思ったりします。

本多 委員長… ありがとうございます。ほかに御意見ありますか。

確かに、前例踏襲だと、森委員が御指摘のような新しい何かというのはなかなか入りにくいのかなと思います。

森 委員… 資格取得に向けた支援や人材確保みたいなのところというのは、これからのところなのでしょうけど、私も中学生、高校生、大学生を指導することが多いのですが、医歯薬系、看護系、医療技術系まではいても、介護の世界を希望したいという若者はすごく少ない気はします。でも、人手はこれからたくさん必要になるので、報酬の件とかいろいろあるのでしょうけど、全然マッチしていないなというところは日々感じます。

本多 委員長… 本当にそうなのですね。

森 委員… 職場体験をしたからといってそこにつながるかということ、それは厳しいかなというところがあります。抜本的なところも関係があるのかもかもしれませんが。

本多 委員長… やはり地域にいる大人たちがケアの仕事に就くこと、向き不向きが最初にあるかもしれないですけど、関心を持った人で、適性というか、「向き」の人にはそういう仕事に就いていただくと、下支えがまたできるのかなというところはあるので。それがこの人材バンクや就労に関連するところに入れていただくと、よりいいのかなと思います。森委員の御指摘のケア人材の不足ということところにも関わってくるのかなという気がします。

森 委員… 保育分野は、政治問題になって、すごく取り上げられて、かなり充実しました。人材もですし、保育園もかなりできて、逆にこれから余ってってしまうのかなと思いますが、介護分野についてはそんな取り上げ方はほぼされていない気はするので。保育園がこういうところに転換していくのかは分かりませんが、大分違う流れだなという感じはしています。

本多 委員長… 介護分野はちょっと注目されなくなったのですよね、20年前から。本

当そうですね。議論は尽きませんが、まとめていただいて。

では最後の基本目標5「高齢者を支える人材を確保・育成する」ということで、関連する内容もありそうですね。施策の方向1「誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために」。説明をお願いします。

佐瀬 係長… 基本目標5の施策の方向1「誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために」の説明になります。47ページを御覧ください。

重点事業としては一つ、ケアマネジャーへの支援です。ケアマネジャーが抱える課題等について、地域包括支援センターを通して助言や支援をするといったものになります。地域包括支援センターにおけるケアマネジャーの相談対応件数を指標としていて、目標値2,900件に対して、実績が3,128件となっておりますので、進捗状況としてはAとしています。

48ページに取組事業を6つ記載しています。主にケアマネジャーや介護職員への情報提供や研修、負担軽減等の取組状況となります。

これらの事業の状況を踏まえて、46ページの施策評価票に戻っていただいて、令和4年度の進捗状況評価としては、ケアマネジャーへの支援をはじめ、介護分野で働く人への支援を適切に実施できていることから、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向1「誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために」の説明は以上になります。

本多 委員長… それでは、委員の皆様から御指摘等があればお願いします。

ちなみに前年度は今年度と同様の評価内容で、検討委員会の意見としては、先ほども同様の指摘がありました。相談件数だけで成果が上がったかを見るのは難しいというところです。介護に関わっている全ての人々を支援していくことが必要である、というコメントを残しています。

令和3年度の検討委員会意見をそのまま令和4年度の検討委員会意見に入れてもいいぐらいかなと思います。私から気がついたところですが、重点事業のこのケアマネジャーへの支援はとても大事で、実績値も、目標値というか、想定していた件数よりも増えております。そうすると、今度は地域包括支援センターを支えないと駄目なのではないのかなと、それがこの事業名に入るのかどうかは分かりませんが、そこが結構大事かなと思います。

地域包括支援センターは、委託ではありながらも行政のブランチという位置づけであるので、そもそも重点事業なのだという説明もあるかもしれませんが、ただやっぱりその点は忘れないようにしないといけないかなと、この前年度の数値を見て、地域包括支援センターも支えないといけないのではないかなと思いました。

森 委員… 先ほどの話の続きになりますが、この取組事業が、今後は重点事業にな

何かうまくバランスで支え合っていないと、この先なかなか厳しいことが増えていくのではないかと思います。

調整するケアマネジャーだけではなくて、日々の支援に入る訪問介護のヘルパーの皆さんとか、訪問看護や訪問診療、往診医の方々も含めて、支えられる仕組みやネットワークは非常に大事だと思うので、どういう事業名になってどこが所管するのかは分かりませんが、そこは必要なことなのではないのかなと思います。

八木 委員… DVでも虐待でもアルコール依存症でも、本人はそれを隠すので、そういうところをうまく連携を組みながら携わっていかないといけない。中でも、ケアマネジャーはやはりその中核を担っていく方たちなので、かなりのストレスだと思います。先日も私はアルコール中毒の御家族から2時間怒鳴られ続けました。でも、私はサービス事業者の一員だからと耐えられますが、ケアマネジャーだと、サービスにつなげて、そのサービスに対してものすごいクレームとかになると、すごくストレスだろうかと、サービスをいろいろ回していくケアマネジャーを支えていかないと、メンタルがやられてしまうなどというのがあります。

本多 委員長… 市にそういうケースとか、そういう現状は情報として入っているのですか。あそこの事業所のケアマネジャーがやられたとか、こちらがちょっと大変だとか。

赤嶺 係長… 市内の地域包括支援センターにつきましては、高齢福祉課の専門職が支援担当ということで後方支援をしておりますので、全てのケースではありませんが、地域包括支援センターが把握をしている課題が複雑なケースや、連携を進めているようなところは、一定数、市も把握しております。場合によっては一緒に訪問をしたり、対応をしたりというところで、先ほど御意見があった、地域包括支援センターを支えるというところを少し見直しているという状況です。

本多 委員長… すごく大事な指摘だし、やはりケアが維持されるためには大事なことだなと思いました。次期計画にそういう項目を入れていただくように、強くお願いしたいと思います。

計画策定検討委員会にも現場でお仕事されている委員の方がいると思うので、そこを受け止めていただいて、そういう方向の計画にさせていただきたいなと思います。

富樫委員、何かありますか。

富樫 委員… 先ほど委員長もおっしゃっていましたが、令和3年度の検討委員会での意見が、そのまま今年も入ってくるようなところがあるのかなとは思いますが。

相談件数を評価指標としていて、進捗状況をAとしてはいますが、相談

の内容ですね。相談件数が増えたからいいというわけではなく、逆に悪化している状態かもしれませんし、地域包括支援センターごとの抱えている悩みのボリュームも違うとは思いますが。

なので、地域包括支援センターの負担もいろいろ大変なところになってきているのかなと思いますが、全体として、国分寺市で働き続けるためにという施策なので、国分寺市独自のいいところをもう少しこの施策の中に取り込んで、なぜ国分寺市で仕事をしているのか、隣接している市にはない良さというものがあると思うのです。

私自身も、長年国分寺市でお仕事を続けさせていただいている中で、他市に移ろうと思えば移れる、訪問介護事業所がたくさんある中で、なぜここでやっているのだろうということを私も今考えながら、意見を聞いていたところですけど、本当に一言で言うと働きやすいというものがあると感じています。

そこには国分寺市という市の特徴といいますか、温かさといいますか、そんなに広くなく狭くもなくというところでの横のつながりといいますか、密着している、高齢福祉課だけではなくいろいろな課との関わりの中で、先ほどもあったように、公民館とか児童館とか、いろいろな世代が入り混じって住んでいる国分寺市なので、そこをもうちょっと活かしていけるように、例えばいろいろなイベントに福祉事業者も、NPOだけではなく、関わって、研修以外で顔を合わせられるような場があるとか、金銭的にフォローするとか研修でフォローしていくところだけではなく、国分寺市は楽しいねと、仕事を続けるにはやっぱり楽しくないと続けたくなくなってくる。そこで楽しめるといいますか、ここで働いていてよかったと思えるような取組が、漠然とした理想なのですが、次期計画の中で、高齢福祉課だけではなく、他課との関わりの中で何か施策に取り込めるようなものがないのかなと感じております。

本多 委員長… 国分寺市のいいところを伸ばす。

富樫 委員… そうです。先ほどおっしゃっていた東元町は、子どもと高齢者との関わりが割と深いと思います。お元気な高齢者の方も多いですし、外に出られる高齢者が多くいる中で、小学生も2世代とか、おじいちゃんの世代から住んでいる地元の方たちが多い地域です。一方で、駅の周辺は、外から入ってこられた若い世代が多くいる。もっともっと北のほうに行くと、高齢者のみの世帯が多いような地域がある。市の中でもいろいろな特徴があります。

そこが入り混じっている中で、国分寺市全体としての計画なので、児童館との関わりや、地域への入り込みができていくと、国分寺市での仕事、地域包括支援センターとのつながりもできますし、仕事が楽しいと、ここ

で働いてよかったと思えるようなものができていくのかなと思います。

本多 委員長… 大切なところですね。このまちが好きだということにつながっているわけだから。そのよいところを伸ばしていただくのも大事なことなので。それが計画策定検討委員会に伝わるといいなと思います。

では、そこも含めて、施策の方向2に行きたいと思います。「介護職の魅力を伝えるために」ということで、御説明をお願いします。

佐瀬 係長… では、施策の方向2「介護職の魅力を伝えるために」になります。50ページを御覧ください。

重点事業としては一つ、介護・福祉の魅力発信です。幅広い世代、特にまだ介護の仕事に就いていない方に対して介護や福祉の仕事の魅力を発信するものになります。指標としては、介護・福祉の魅力発信という設定になっています。目標、実績ともに「構築」となっており、進捗状況としてはBとなっています。

取組事業を一つ記載しています。市内の公立中学生を対象に介護職の職場体験を実施するという内容の取組事業となります。

これらの事業の状況を踏まえて、1ページ前の49ページ、施策評価票に戻っていただいて、令和4年度の進捗状況評価としては、介護・福祉の魅力発信については、市内のイベントでのPRを今後の実施に向けて検討しており、都の人材確保事業の広報の協力をしっかり行っていることから、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向2「介護職の魅力を伝えるために」について、説明は以上となります。

本多 委員長… 委員の皆様から御意見、コメントがあればお願いします。先ほどの議論からすれば、これはとても大事な内容、施策かと思います。本当は魅力を伝えた上で仕事をしてもらおうという、その次も大事ですが、まずは知ってもらおうということかなと思います。

これは今年度発信するということですよ。令和3年度、令和4年度が「構築」「構築」で、今年度「実施」ということですよ。今年度、市内で魅力が大きく発信されるという計画なのだろうと思うんですけど。

また、職場体験は、これまで新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者施設で行うことは難しかったと思いますが、今後はどうなのかなというところですね。何かコメントがあればお願いします。

土井 係長… 介護の魅力発信につきましては、令和4年度は「構築」ということですが、以前から市民の方が集まるイベントや、社会福祉法人で開催している介護人材に関するイベント等でタイアップしながら実施できればいいなというところで準備をしているところです。介護人材につきましては、市町村単位というよりは、都道府県で広域的にという位置づけでもありますの

で、東京都で魅力発信に限らず様々な事業を展開しています。そういったものも積極的に活用し、介護の事業所、人材の確保や定着という様々な情報を発信していくことで、全体的な魅力発信につなげるため、実施に向けて準備している段階です。

佐瀬 係長… 追加で、職場体験についてですが、令和3年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、今年度については、事業所から受入れ可能というお話を頂いていて、中学校からも事業所の紹介依頼がありまして、実施に向け進んでいる状況です。

本多 委員長… ありがとうございます。いいことだと思います。

富樫 委員… 次期計画以降でも構わないのですが、可能であればこの施策の中に、先ほど出てきた人材バンクに登録している方や、昔遊びのような活動をしているグループが学校に出向くというところの支援を取組事業に加えたいと感じました。当事業所はデイサービスを併設していますが、新型コロナウイルス感染症が流行する前は、近隣の小学生が歌を歌うなど、定期的にボランティアとして来ていました。小学生は授業の一環として来ているのですが、実際に来てもらって高齢者と触れ合えるかということ、授業なので、子どもたちは来て歌を歌って帰ってしまいます。高齢者の方たちも聴いているだけで、交流には直結していない部分もあります。他の施設では違うのかもしれないのですが。高齢者と若い世代の方たちが関わる場所になかなか結びつかないところがあって、高齢者と触れ合う、関わる機会がないと、高齢者を支えるということが、自分が暮らしているところと別世界になってしまう。高齢者と関わるのが当たり前になると、福祉の仕事もより身近に感じられる。せっかく人材バンクがあるので、そういった方たちが学校に行くという逆パターンの支援も高齢福祉課として取組事業に含めることができれば、もうちょっと変わってくるのかなと感じました。

本多 委員長… 間接的にはサポートが必要なお年寄りのケアをする仕事もいいなと思える機会につながる可能性があるということですよ。

富樫 委員… 今の小学生はなかなか3世代で住んでいる家庭は少ないと思いますので、高齢者と住む世界が違う、そういった中で高齢者と当たり前のように触れ合える時間があると、より身近に、介護というものが遠くなく当たり前の環境になると、もう少し変わってくるのかなと思います。

本多 委員長… 先ほどの公民館や児童館の事業で、地域の元気なシニアの皆さんとのふれあいたいなのは事業の中に出てきていますけど、富樫委員が御指摘されたように、イベントとしての慰問的な交流ではなくて、よりボランティアに近いような形で、関心がある子どもたちが事業所に行ける、あるいは行きたい人とのマッチングのような事業所と学校をつなぐ取組というのは、

ボランティアセンターではおそらくできないので、こういう事業に入れていただけるといいのではないのかなというところですね。

富樫 委員… 昔遊びを公民館だけで関わるのではなく、学校との連携で遊びの時間という形で高齢者が出向く。その支援ができれば、再就職ではないですが、資格を活かすという先ほどの取組事業にもつながっていくのかなと思いました。

本多 委員長… 前例がないから難しいかもしれませんが、御検討いただいて。

富井 副委員長… 高齢者と子どもたちの交流の研究事業の中で、子どもたちに挨拶をし続ける地域というのは、子どもたちがそこから手助け行動に展開していきやすい、それも有意差があり効果ははっきりしていますので、そういったものを事業化していくというのはありだと思います。

升田 委員… 福祉の仕事の魅力を発信するというキーワードが、すごく危うい感じがします。本当に職員や市が魅力を感じているのですかというのもあるし、伝えられますかと。逆に、魅力を過大に伝えて現実になったときには、また壁にぶつかりますよね。魅力を伝えて、奉仕の精神とかそういうことがないと、その人には響かないわけなので。

国分寺市の社会福祉に携わる人にはこういう魅力がある、ということを作ることが市としてできることではないかと思う。国分寺市には住宅補助があるとか、空き家はたくさんあるので、若い方にそういうのを回すとか、そういうことによって、国分寺市で働くことに本当に魅力があるという施策を考えるほうが、魅力を伝えるというよりも魅力を作るほうが大事ではないかなと思います。

本多 委員長… 魅力を作るは大事ですね。今、魅力がないかというところがあるのだと思いますから、魅力を広げるとか、増やすとか。

升田 委員… 実際に私は、介護職で働いていて辞めた人をたくさん知っています。それは、もう生活ができなくてという人が多いので。

市として独自にできる仕事があれば、そういう魅力を追加すると働きやすいですよ。

本多 委員長… そういう施策を作りたいですね。でもここで作るわけにはいかない。いろいろなところで吸収していただいて。

升田 委員… 上っ面の魅力発信をしても伝わらないと思う。現場の人の本当に大変だけど、という声でないと伝わらない。

富井 副委員長… 施策の方向1と2の話ではなくて、基本目標5のところでの次期計画に向けてというところで一つ意見があります。高齢者を支える人材を確保・育成するというところで、介護職の方たちに注目がいますが、次期に関しては、おそらくケアマネジャー、それから地域包括支援センターの職員の数をきちんと確保していくことが、とても大変な状況になるかと思

います。

他市では、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが新規を受けられない状況で、自治体が調整に入るといっても起こっていますし、また他市では地域包括支援センターの職員、ケアマネジャーが足りないとか、それから別の自治体では、地域包括支援センターの看護職がもう2年ぐらい不在のまま、複数の地域包括支援センターがそういう状態で運営されているということも伺っていますので、とにかくマネジメントしていく、中枢を担っていく方たちをきちんと確保していくことは、重点項目ではないかなと思いました。

本多 委員長… 介護に関わる人材の確保。表現が難しいですね。でも、そういうことで

富井 副委員長… それもぜひ、次期には入れていただきたい。

本多 委員長… 大事な御意見をありがとうございます。この10年考えると本当に大事なポイントだと思うので、入れていただきたいと思います。

八木 委員… 介護職を大切にする、今、訪問系在宅の様々な事業所は、訪問介護事業所や訪問看護事業所などたくさんあり、どんどんできるが、なくなってしまふ。小規模の事業所は、大きくなるためのパワーがないと、なかなか依頼がなくて辞めてしまふ。その事業所の継続が現実難しくなってしまうところがあると思います。

そう思うと、この介護職の魅力ということは、介護職だけではなく私たち看護職も、スタッフが安心してそこの事業所に勤められるために、事業所の経営が安定していることが重要で、介護職が、安心してそこに勤めていいケアをする、そしてスタッフが定着してケアをする、と回っていかないと思うので、事業所への支援ということも何かあるといいのかなとは思いました。

富井 副委員長… 特に地元で開業してくださっている中小企業ですよ。

本多 委員長… そこは、難しいハードルが幾つもあるのかもしれないですが。

富井 副委員長… 公平性からしたら、難しさはあるかと思うのですが。

本多 委員長… でもすごく大事な指摘だと思います。結局、あそこも辞めた、ここも辞めたみたいな状態になると一番よろしくないと思うので、そこは注視していただきながら、それこそ重点事業なのかなと思います。

先ほど事務局のコメントもありましたが、社会福祉協議会で確か法人連絡会のような取りまとめをしていて、高齢者の領域だけではなくて、障害とか子どものところの、社会福祉法人だけかもしれないですが、もしかすると仕事相談会のようなことを国分寺市ではやっているのかな。別の市だとそういうのをやっていたりするので。社会福祉協議会がコーディネートして福祉の人材募集に一步進めるようなところに市もバックアップしてい

ただいたりするといいいのかなと思うので、やはり情報連携なども大事なかなと思えました。

八木委員の御意見、小規模の事業所についてですが、大きな社会福祉法人もあれば、小さなNPOや団体もあって、事業規模はいろいろあると思うのですが、それを国分寺市全体でどう支えるか。そこを支えないと、そこに支えられている人の生活が行き詰まるという状況が出てきますので、そこも視野に入れながら、介護職だけではなくて、介護に関わる全ての専門職の仕事の継続や、そこにつながるいろいろな人の生活を支えるためにということかなと思いますので、その点も含めて、次期計画に向けて強くお伝えはしたいと思います。

これで全基本目標、施策の方向については確認が終わりました。ありがとうございました。

この議題について事務局でまとめていただいて、委員長と富井副委員長で確認して、次期計画に対するコメントに少し修正を入れて、進めていきますので、一任いただければと思います。よろしくお願いたします。

3 報告

①介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票（令和4年度）について

本多 委員長… 続いて報告事項です。2点ありまして、1点目が介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票（令和4年度）について、2点目が第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況についてです。続けて御説明いただければと思います。よろしくお願いたします。

寒河江 係長… 介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票（令和4年度）について御報告いたします。資料2の1ページを御覧ください。

令和4年度の認定者数につきましては、計画値5,914人に対し、実績値5,887人と、ほぼ計画どおりとなっています。

介護サービスの受給者数につきましては、居宅サービスがほぼ毎月3,000人台、地域密着型サービスが毎月700人前後、施設サービスが毎月500人台となっています。介護予防サービスの受給者数につきましては、居宅サービスがほぼ毎月500人台、地域密着型サービスが毎月3、4人となっています。

2ページ以降が、令和2年度から令和4年度のサービス種類別の給付実績となっております。こちらは令和4年度の実績値と計画値に10パーセント以上の差異がある報告について、説明を追記しています。

4ページの下段から6ページの上段の介護予防サービス給付費につきましては、全体として令和2年度から令和3年度にかけて減少していましたが、令和3年度から4年度にかけては増加に転じています。6ページ下段

のその他の給付費については、主に利用者負担の軽減となっています。こちらは令和2年度から4年度にかけて減少をしています。令和元年度から令和2年度にかけては増加していましたが、令和3年度以降は減少していますので、こちらは、令和3年度に制度改正があった特定入所者介護（予防）サービス費の減少によるところが大きいと考えています。

介護サービス給付費，介護予防サービス給付費，その他の給付費全体で見ますと、令和2年度から令和4年度にかけて増加をしている状況です。

7ページ上段の地域支援事業費につきましては、令和2年度から令和4年度にかけて徐々に増加しており、令和4年度はほぼ計画値どおりとなっています。7ページ下段の市町村特別給付費の高齢者送迎サービス費については、令和2年度から令和3年度にかけて増加していますが、令和3年度から令和4年度にかけては横ばいとなっています。高齢者緊急ショートステイサービス費については、令和3年度から令和4年度にかけて増加し、令和4年度は令和2年度を上回る実績となりました。

簡単ではございますが、報告は以上となります。

②第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について

本多 委員長… 続けて、資料3の第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について説明いただいて、併せて質疑応答とします。

佐瀬 係長… 第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について、御報告いたします。

初めに計画書の133ページ、施設等整備計画を御覧ください。第8期では令和4年度に小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護の事業所を1事業所，認知症対応型共同生活介護の事業所を1事業所，令和5年度には介護老人保健施設を1施設，それぞれ整備するという計画になっています。

こちらの計画に対する実績を、資料3に示していますので、併せて御覧ください。

こちらの表は、入所系施設と地域密着型サービス事業所の整備状況で、事業者を公募して施設整備を行っているもの以外の事業所についても記載していますが、太線で囲われている部分が整備を計画しているものです。令和4年度には、地域密着型通所介護の事業所が新設1，廃止3となっていて、ほかは特に動きがないといった状況です。

施設整備計画とは関連がありませんが、新設された地域密着型通所介護の事業所は、いずみプラザ内の市の指定管理施設の高齢者在宅サービスセンターふれあいです。令和3年度までは通所介護事業所でしたが、併設している通所リハビリテーションの定員を増やすために、通所介護の定員を

減らし、小規模の地域密着型通所介護に変更したというものです。

第8期に整備を計画しているものの進捗状況としては、令和4年度に整備を計画している小規模多機能型居宅介護と認知症対応型共同生活介護については、令和3年度に事業者を選定し、令和4年度に開設の予定でしたが、補助金の協議が長引き、令和5年度の開設となりました。現在、補助金の協議は終了し、開設に向けて工事が進んでいる状況です。

また、令和5年度に開設予定の介護老人保健施設については、令和3年度に公募したものの、応募がなく、令和4年度に再公募として期間を長めに設定し募集しましたが、残念ながら応募がなく、建設の見通しが立っていません。再公募に当たり、市内で建設を検討しているという法人があり再公募を行いました。物価高騰などが重なったためなのか、正確なところは分かりませんが、残念ながら応募に至らなかった状況です。

第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について、御報告は以上となります。

本多 委員長… 2点続けて報告を頂きました。質問やコメントがあればお願いします。
升田 委員… 報告事項なので掘り下げても仕方ないかもしれませんが、介護老人保健施設は132床を増やす予定で事業所が決まりませんでしたということですが、現在132床不足しているのですか。

本多 委員長… 現在132床あるのではないですか。このいずみプラザに1つ、近隣に1つあって、両方で現在は132床あるということだと思います。プラスで80増やしたいが、応募しても来ないと。

升田 委員… そうだとすると、待機者、入りたい人がどれくらいいるのですかと聞きたい。

本多 委員長… そこはなかなか難しい。

升田 委員… これを作る必要があるのですか。計画しておいて何も進展していないとは、本音として、それほど必要がないのでは。

調べていたら、事業や財源の関係で施設整備を抑制していると書いてある本があったので、地方自治体がみんな整備を制限して、そういう意図で強く募集をかけていないのか。きちんとやろうと思えば方策はあると思いますが、あまり重点的にやっていないような感じがするので、どうなのですか。

佐瀬 係長… 介護老人保健施設については、第6期から計画で整備を位置づけていますが、なかなか建設に至らない、そんな流れですと来ています。

当初は当然必要だということで整備計画を立てています。現状では、例えば、いずみプラザにある介護老人保健施設では利用率が90パーセントを超え、95パーセントぐらいで推移しています。国分寺市としても、介護老人保健施設が在宅復帰を目指す施設ということで、何とか在宅で生活

ができる方を増やしていこうということで計画に入れているところですが、今、升田委員がおっしゃった点についても、最近、東京都の介護保険事業計画に関するヒアリングで、東京都全体としては介護老人保健施設を建てようとしている自治体が減ってきているといった情報も聞いています。

次期計画でどうするかということはもちろん検討していくところではありますが、今まで必要だということで計画しているのは間違いないので、別の施設にするのであれば、それに代わる機能が当然必要になると思いますので、そこは考えていく必要があります。

以前から、介護保険運営協議会などで説明しているところですが、介護老人保健施設は基本的に、建設に当たっての条件は病院と同じで、非常に建てづらいということがネックになっています。国分寺市の面積の中でも3分の2については建設できない用途地域になっているということもあり、ずっと建てられないでいる状況です。

升田 委員… 市内の特別養護老人ホームの空いている部屋を使えば充^{てん}填できるのではないかと思ったのですが、それはできないのですか。

本多 委員長… できないですね。

升田 委員… 部屋があるのに介護士がいらないから入所できないと聞いているし、有効に活用できたら、新しく作るより費用が安い。

佐瀬 係長… 先ほど御説明したように、用途が違います。施設の目的が違うのです。あとは、先ほどお話ししたとおり、介護老人保健施設は病院扱いになるので、法律の縛りもありますし、人員配置基準が変わってくるので、特別養護老人ホームの人員で介護老人保健施設ができるかというのと別の話になりますので、そこもネックになると思います。特別養護老人ホームのベッドを使えば介護老人保健施設の機能が代わりにできるかというのと、そういうわけではありません。

升田 委員… 入れない人がいて待っているのだったら、有効に活用してほしいなと。

本多 委員長… 升田委員の御意見は、利用者側からすると、部屋空いているのだからそこに職員が行けばと、そういうふうに見えるのはまさにそのとおりであります。

升田 委員… 市民としてはそう思います。

本多 委員長… ただ、説明があったように法律の枠組みが全然違うのと、職員配置基準というところで、難しい現実があると。

升田 委員… ただ、こうやって何度も計画に載せて放置しておくということは、あまり本意ではないなという感じに受け取ります。本気でやる気がないですねと見えてしまう。

本多 委員長… だから、全体状況をもう1回確認をした上で、入所型のリハビリテーション機能のある介護老人保健施設が本当に必要なのかというのは、また

どこかで確認していただく必要がありますね。

升田 委員… 必要なければいい。

本多 委員長… 一方で、やはり入所しないと難しい要介護高齢者がいることもまた事実です。かつ、リハビリテーション機能というのは大事な機能で、そこから家に戻って在宅生活を始められる人もいることは事実なので、なかなか難しいのですが、そこを再確認していただいた上で、適切なサービス配置と計画に修正していただくというところが必要なのかなと思います。

施設を建てるには広い土地と用途、条件というネックがあるがゆえに、何年も手を挙げる法人がないというところなのかなと思いますので、両側面から検討を進めていただければと思います。

升田 委員… 本当に必要なら市で作るべきだと思います。

本多 委員長… サービス見込量の進捗管理票に関しては、令和2年度から令和3年度の新型コロナウイルス感染症が流行した1年目、2年目は減少傾向でしたが、令和3年度から令和4年度にかけては増加し、元に戻ってきているという全体的な報告だったと思います。

そして、今年度はアフターコロナというところで、もっと増えてくるのではないのかなと思いますが。よろしいですか。ありがとうございます。

サービス計画も随時検討していただきながら、新しい介護老人保健施設ができるといいなとも思います。よろしいですか。ありがとうございました。

4 閉会

本多 委員長… 長時間でしたが、大事なディスカッションができたと思います。

では、長時間にわたりありがとうございました。お疲れさまでした。閉会いたします。